



河小だより

ポプラ

No. 3

平成28年5月19日号
佐渡市立河崎小学校

『ミラーニューロン（鏡のような脳細胞）』

－『自分が人からされていやなことは、しない、言わない。』は、
『自分が人からしてほしいことは、人にする』と同じである』の巻－



校長 濱田 晴明

1年生へ「おはよう。」と言えば、「おはよう。」と返ってきます。
「おはようございます。」と言えば、「おはようございます。」となります。

人間の脳には、無意識のうちに人の言動を真似する鏡のような細胞（ミラーニューロン）があります。赤ちゃんを見れば分かる通り、見たものを脳内で再現し、その後、実際に真似して、成長をしていきます。大人も同じです。

ところで、私が若い頃、担任した子どもたちへ「おはようございます。」と言えませんでした。年下に向かって「おはよう。」というのに違和感があったのです。

しかし、今は、違います。脳内の「ミラーニューロン」や「自分が人からしてほしいことは、人にする。」という成功哲学を知ってからは、次のようにしています。廊下などで子どもたちに会うと、しっかり立ち止まって、「おはようございます。」と言いながら頭を下げています。その時、一切理屈や説明はしません。

「子どもの言葉遣いが悪い。」などと嘆く前に、周囲の大人がどんな言動なのかを振り返ってみる必要があります。

アメリカでは、昔から以下のような詩があり、今も受け継がれてきています。

『アメリカインディアンの教え』

批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします。
敵意にみちた中で育った子はだれとでも戦います。 (以下略)



「子どもは、大人からされた言動を、真似するようになる」のを、人間は、「ミラーニューロン」の発見の前に、自分の経験から分かっていたのです。

1年生の話の続きです。

1年生は、毎日、校長室へ来て、「さようなら。」とあいさつをしてから帰ります。以前ですと、「さようなら。」と言いつつ終わる前に、姿が無くなるくらいのスピードで立ち去りました。しかし、今は、指先を伸ばし、「さようなら。」と、深々と頭をさげながらあいさつをします。さらに、最近では、「明日元気に来ます。」など、あいさつの後にうれしい一言が加わるようになりました。

皆さん、子どもにやってもらいたい言動を、我々周囲の大人が、自分たちができることから無理せずに示していきませんか。



明日また遊びましょう。



6月は「いじめ見逃しゼロ強調月間」です。

「深めよう 絆 にいがた県民会議」は、学校、家庭、地域が連携して、いじめなどの諸問題の解消と未然防止に社会全体で取り組む「いじめ見逃しゼロ県民運動」を推進しています。